

全国大学生環境活動団体SDGsミーティングを開催しました。

全国の大学で、たくさんのサークルや団体が環境活動を実践しています。

全国ユース環境ネットワークでは、全国大学生環境活動コンテスト実行委員会の協力をいただき、2022年度に2回、「全国大学生環境活動団体SDGsミーティング」を実施しました。

このミーティングは、全国の大学生の環境活動団体を対象に、①大学生同士による交流実施 ②環境団体の課題を共有 ③今後実施したい活動の意見交換 などをテーマに実施しています。

2022年8月 全国大学生環境活動団体SDGsミーティング



● 参加団体

- ◆ 北見工業大学 北見工業大学環境保全学生委員会(KITeco)
- ◆ 芝浦工業大学 石垣島をもっと元気にするプロジェクト
- ◆ 芝浦工業大学 SDGs 学生委員会-綾いと-
- ◆ 国際基督教大学 ICU SUSTENA
- ◆ 公立鳥取環境大学 学生EMS委員会
- ◆ 長崎大学 ながさき海援隊



オンライン&リアル開催

日程 2022年8月6日(土) 14:00~16:00

会場 東京都新宿区 会議室

主催 独立行政法人環境再生保全機構全国ユース環境ネットワーク事務局

共催 全国大学生環境活動コンテスト実行委員会



● ミーティング内容

〈ワークショップI〉～持続可能な社会と何か～

〈ワークショップII〉～全国の大学生環境活動団体が連携することでできる活動は?～

参加大学生の意見 (抜粋)

- ◆ 新型コロナウイルス感染症が流行してからは、罹患を恐れ、感染症を自分事と意識し、マスクの着用が習慣した。同じように、環境問題やSDGsも自分事になれば、それが習慣化し、持続可能性へとつながる。
- ◆ SDGsは2030年の目標ではあるが、大切なのはその過程である。SDGsの考え方が習慣化できれば、それが成果となる。取り組むことへのメリットが必要で、個人だけでなく、企業としても環境問題を自分事として捉えることが重要だと思う。
- ◆ 「環境」という言葉は親しみがもてず、とっつきにくい印象がある。そこで、親しみを持ちやすい活動として、全国の環境活動団体で同じ日時に一斉ごみ拾いをしてはどうか。「環境×楽しさ」をモットーに、学生や企業、地域住民等を巻き込んで、楽しみながらごみ拾いができるといい。
- ◆ 北から南へ実際に「バトン」を渡しながら、リレー形式で清掃活動を実施してはどうか。
- ◆ 日常生活でのエコパックの活用など、一人ひとりの環境に配慮した行動が当たり前になることが持続可能につながると思う。また、自然を愛する思いを持つことも大切だと思う。
- ◆ 一人ひとりが持続可能な社会について考えることが大切だと思う。自覚することで、持続可能な考えが根付いていく。
- ◆ 今ではリサイクルされるようになったペットボトル。そういったことを、一人ひとりが自覚し、根付かせていくことが、大学生の環境活動団体の役割であると感じた。
- ◆ 各大学でペットボトルのラベルを集めてアート作品を作るという意見が出た。大学生がどれ程のペットボトルを使用しているか、関心を集めて認識してもらう機会になる。
- ◆ 各団体の活動をSDGsのゴールに当てはめてはどうかという意見も出た。可視化して一覧で大学生の環境活動団体をまとめられると面白いと思う。